

令和7年度 香取郡香取市中学校柔道競技大会要項

- 1 主 催 香取教育研究協議会
香取小中学校体育連盟
 - 2 共 催 香取市教育委員会 神崎町教育委員会
東庄町教育委員会 多古町教育委員会
 - 3 後 援 香取校長会 香取教頭会
 - 4 日 時 令和7年 7月12日(土)
午前9時00分 開会式
(予備日) 7月13日(日)
 - 5 場 所 香取市立佐原中学校 柔道場
 - 6 競技方法
 - (1)国際柔道連盟試合審判規定(2025年4月1日より施行の改正ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
 - (2)団体戦内の個々の対戦の判断基準は「有効」「僅差」以上とする。
(「僅差」とは、「指導の差が2以上ある状況」を指す)
 - (3)団体戦はトーナメント形式、個人戦はトーナメント形式とリーグ形式で行う。
 - (4)試合時間は、3分間とする。
 - (5)出場人数は、団体戦男子は正選手5名、補欠2名とし、体重の軽い順に並べる。
女子は正選手3名、補欠1名とし、体重の軽い順に並べる。
 - (6)団体戦の勝敗は、次の順によって決める。
 - ア 勝ちの数によって決定する。
 - イ 勝ちの数が同数のときは、内容によって決定する。
 - ウ 内容も同数のときは、代表戦を行い決定する。
代表戦は任意の選手とし、判断基準は団体戦と同様とする。ただし、本戦で得点差がない場合は、5分間の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とし、延長戦でも勝敗が決まらない場合は、判定によって勝敗を決する。
 - (7)個人戦における勝敗の判定基準は「一本」「技有」「僅差」とし、得点差がない場合は、5分間の延長戦により勝敗を決する。なお、延長戦でも勝敗が決まらない場合は、判定によって勝敗を決する。
※GSについては改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で、その選手が負けとなる。
 - (8)欠場者の元の位置への再度出場は認めない。
 - (9)安全確保のために主催者の判断で選手を棄権させる場合がある。
- 【具体的方法】
- ①審判は、試合前後及び試合中に「試合を行わせることが危険」と判断する事態が生じた場合、試合を中断する等、選手の行動を制止して本部に報告する。
 - ②主催者は、救護とともに選手の様子を観察し、「試合を行わせることが危険」と判断したら、監督を本部に呼び、当該選手を棄権または出場させないことを告げる。
 - ③主催者は、棄権を申し渡した後、必要な措置を行わせる。

(10)脳震盪対応について

選手及び指導者は、下記事項を遵守すること

- ①大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(11)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

(12)その他は、県大会のルールに準ずる。

7 参加資格 香取郡市の中学生

8 その他

- ・選手は、学校名と選手名を書いたゼッケンを必ず付けること。
- ・出場選手は学校医の検診時において異常なしと診断され、その後の活動状況から大会に耐え得ると判断された者。また、保護者が承諾し、学校長が総合判断をして出場許可を与えた者とする。
- ・団体戦で優勝、準優勝に入賞したチーム及び個人戦で優勝、準優勝した選手
(＊千葉県小中学体育連盟柔道専門部の定める支部出場枠数による。)は、7月26日(土)、27日(日)に東金アリーナで行われる千葉県中学校柔道大会の出場権を得る。